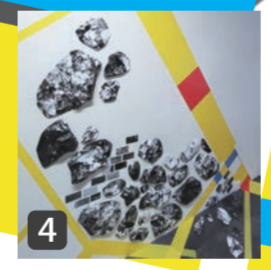
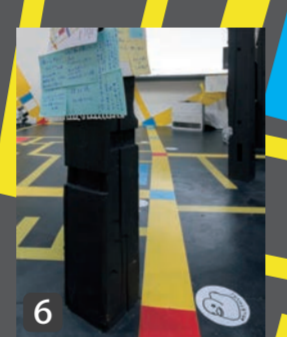


Extracurricular

課外授業

2023年度総合基礎美術 第2課題『身体』の記録
General Foundation Practice 2023,
Assignment 2, "Body"



渡辺信明
山本ふたば
堀田十絵
古野和
中野佐和
佐保大
小島健
木村大
井上明
安藤隆一
安藤圭子
藤田佳子



総合基礎実技(総基礎)は京都市立芸術大学(京芸)美術学部
の領域横断型の授業です。40年を超える実績を有し、受験実
技から創作の世界へとスタートを切る、全ての新生者が受講
するユニークかつ非常に重要なプログラムです。授業内容は
課題ごとに実技や学科、専門分野の枠を越えた教員たちによ
って作り出されます。2023年度の総基礎第2課題では、スポ
ーツの側面から「身体」の可能性を探り、感覚、感情、思考を
膨らませ、アートイベント「超運動会」を開催しました。今回は
『課外授業』と題し、空堀を自身の身体で体験し、それぞれの
興味の切り口で表現する課題を行いました。
安藤由佳子(運営委員)

からほり・ブギウギ インスタレーション(養生テープ)

安藤由佳子・安藤隆一郎・佐俣和木・浅見泰佑・木村健太郎・小島大地・中尾滯・山本ふたば

「からほり・ブギウギ」は運営委員の安藤由佳子が考案し、今回の展示の下地として受講生の皆さんの協働作品として制作されました。また、その配置は佐俣和木の「からほりの北」で決定されています。草案にはモンドリアンの「フロドウェイ・ブギウギ」と安藤の空堀の印象があります。



佐俣和木 SAMATA Kazuki 1

どこでも輪投げ 写真 輪投げ インスタレーション からほりの北 映像(QRコード)

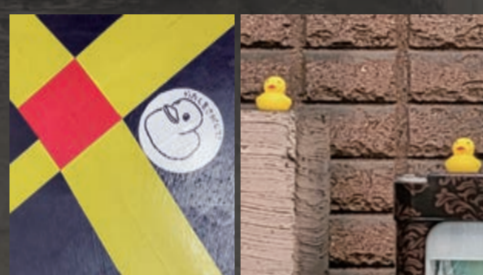
空堀の路地を探索していると、ぱっと見では何の用途に使われているかわからないような、生活の工夫の痕跡が現れる。私はその不思議な形や組み合わせに着目し、色々な出っ張りやちょっとした隙間を輪投げの的に見立て、街中を遊び場にする。会場の中心に置かれている輪投げ道具は、時折、作者が公園に出して遊んでいるので、見かけたらぜひ一緒に遊んでほしい。



山本ふたば YAMAMOTO Futaba 4

石垣のスケール コラージュ

はじめての空堀という場所を、地図もなく、どこを目指すでもなく、己の五感を頼りに歩いてみた。人家の扉、色とりどりの壁。そんな小さくて賑やかな世界にうきうきしながら歩いていると、唐突に家々の隙間に石垣が現れた。それはかの大阪城の外堀の遺構だという。町を取り巻く大きな時間と空間の呼吸の中に、自分も息を歩いている! 石垣だけが全部知ってる。大きなスケール。



古野佐和夏 FURUNO Sawaka 6

空堀商店街探検 インスタレーション

空堀を探索してみると、さまざまな時代の面影が入り混じる面白い所、という印象と同時に、その中に自分は馴染めない、浮いているとも感じました。そのような、空堀にとって外部の存在である自分の内部にあるものを、空堀という外部に侵入させていくこと、それは良くも悪くも多方面に何かしらの変化をもたらすものと考えます。



中尾滯 NAKAO Rei 2

水平の安らぎ 立体

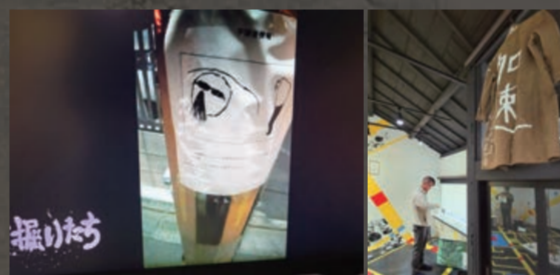
空堀という街を散歩して入り組んだ路地やその地形や遺跡に適應した街並みが目にまりました。上町台地は傾斜が特徴的であり多くの建築物は緩い斜面の上に床が水平に作られており土地を開発する上で水平であることはとても重要であると考えます。このことから自分は水平な面には人を安心させる力があると考えました。



木村健太郎 KIMURA Kentaro 5

「archive 人」「archive 空」「archive もの」平面、インスタレーション

私は透明なフィルターを通して今の空堀の動きを記録する。描いているとき、私は世界を見る側だと思いつているが、実際にはみられる側でもある。空堀の中でみたものを、私の体でアーカイブしている。それと同時に私は空堀の街の中に記憶されているのかもしれない。



小島大地 KOJIMA Daichi 7

空堀たち 映像

いろんな不思議ポイント(真相を掴めない出来事)を感じた空堀の町で、ネズミを睨えてたはずんでいるイタチと出会った。そういえばイタチについて何も知らない(得体の知らない生物だ)と思った私は、不思議なことや変なこと全ての正体であるという架空のイタチ像を作ろうと思った。



浅見泰佑 ASAMI Taisuke 3

這ウス パフォーマンス、映像

空堀商店街のきつい坂と自転車のすばやく行き交う様に、街の陰しさと居場所のなさを感じました。ロードメジャーを頭に付けて這いつつ距離を測り、この地形を理解すると共に、進むことの苦しさを表現しよう、と考えたのですが…苦しくても生きていられるのはささやかな誇りや少しの息抜きのためだ、と思いつき、ハウスのトラックを制作し、それにのりながら這うことにしました。這うことと這うことの間、ハウスと呻き声の間にいい感じの人生を見出したいと思いました。



EVENTS 3/16



トークイベント「総基礎という現象」
安藤由佳子、井上明彦、佐俣和木、堀田千絵、渡辺信明



ライブドローイング(於 桃園公園) / 木村健太郎



輪投げ体験(於 桃園公園) / 佐俣和木

- 運営委員
安藤由佳子(2023年度総合基礎実技第2課題 課題長、彫刻専攻)
佐俣和木(2023年度総合基礎実技 第2課題担当非常勤講師)
- 応援教員
安藤隆一郎(2023年度総合基礎実技第2課題 運営委員、染織専攻)
井上明彦(京都市立芸術大学名誉教授)
堀田千絵(2023年度総合基礎実技第2課題 応援教員、心理学)
渡辺信明(2023年度総合基礎実技 運営委員、油画専攻)
- 受講生(2023年度京都市立芸術大学一回生)
浅見泰佑、木村健太郎、小島大地、中尾滯、古野佐和夏、山本ふたば

展示会の記録
課外授業 2023年度総合基礎実技 第2課題「身体」

会期 2024 3.06-23
会場 +1art
撮影 安藤由佳子(a-d)、+1art
発行 +1art 大阪府中央区谷町6-4-40 April 2024 @+1art

